

2021年度 第2四半期決算 補足資料

2021年10月29日
北海道ガス株式会社
代表取締役社長 大槻 博

売上高は、ガス販売量は増加したものの、
原料費調整制度による販売単価の低下等により、連結・個別ともに減収
経常利益は、ガス販売量の増加等により、連結・個別ともに増益

北ガスグループ（連結）＜2期連続の減収・2期ぶりの増益＞

（ ）内は、前年同期比

売上高

478.0億円

（▲19.7億円、▲4.0%）

経常
利益

23.9億円

（+14.4億円、+151.2%）

北海道ガス（個別）＜2期連続の減収・2期連続の増益＞

（ ）内は、前年同期比

売上高

401.0億円

（▲30.3億円、▲7.0%）

経常
利益

18.8億円

（+12.8億円、+216.2%）

主要計数 <ガス（販売量）>

ガス販売量

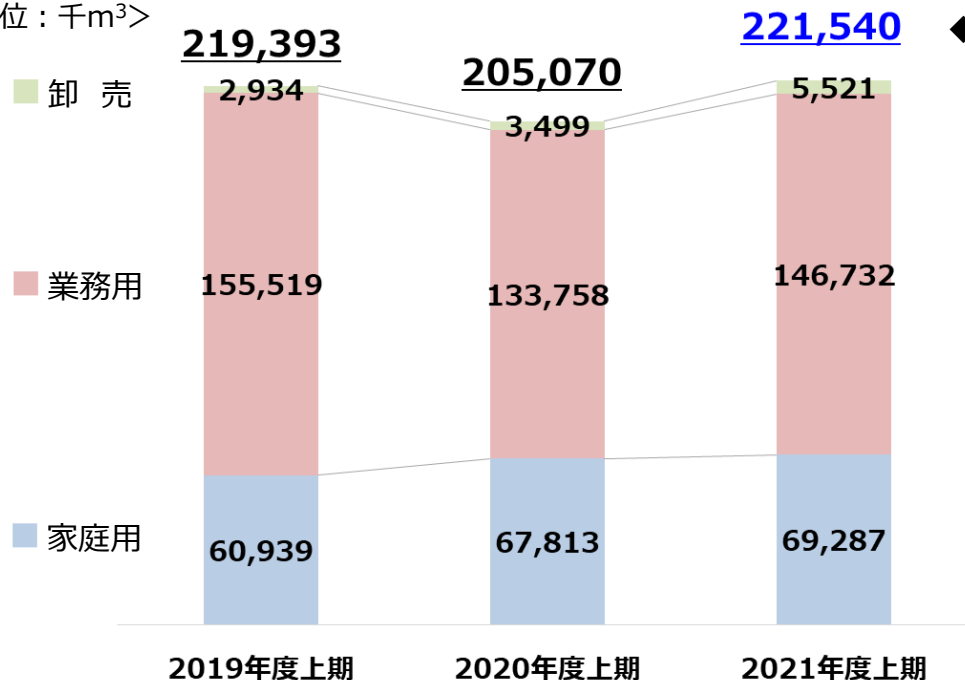
2億2千1百万m³（前年同期比 +8.0%）

家庭用を中心としたお客さま件数の拡大に加え、業務用のお客さまにおける春先の稼働率向上の影響もあり、販売量は増加

◆2021年度上期と2020年度上期の比較

- お客さま件数の増加：新築戸建のお客さま獲得が順調に推移し販売量は増加
- コロナ影響：家庭用は巣ごもり影響が継続、業務用は稼働率が向上
- 気温影響：気温が高く推移した影響により販売量は減少傾向

<単位：千m³>



◆2021年度上期と2020年度上期の比較

合計：+16,470千m³ (+8.0%)

業務用：+12,974千m³ (+9.7%)
新設物件の稼働、稼働率の向上

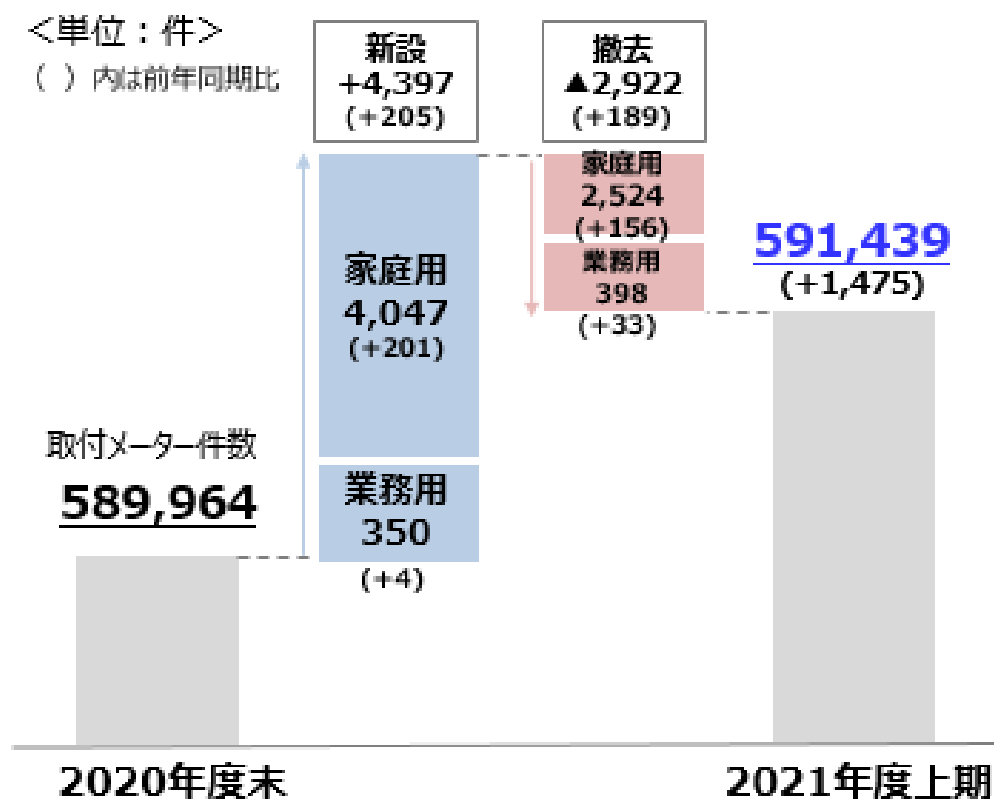
家庭用：+1,475千m³ (+2.2%)
お客さま件数の増加

主要計数 <ガス（お客さま件数）>

お客さま件数
(取付メーター件数)

591,439 件 (前年度末比 +1,475件)

新築戸建のお客さま獲得が順調に推移したことにより、
お客さま件数は純増し、591,439件と過去最多に

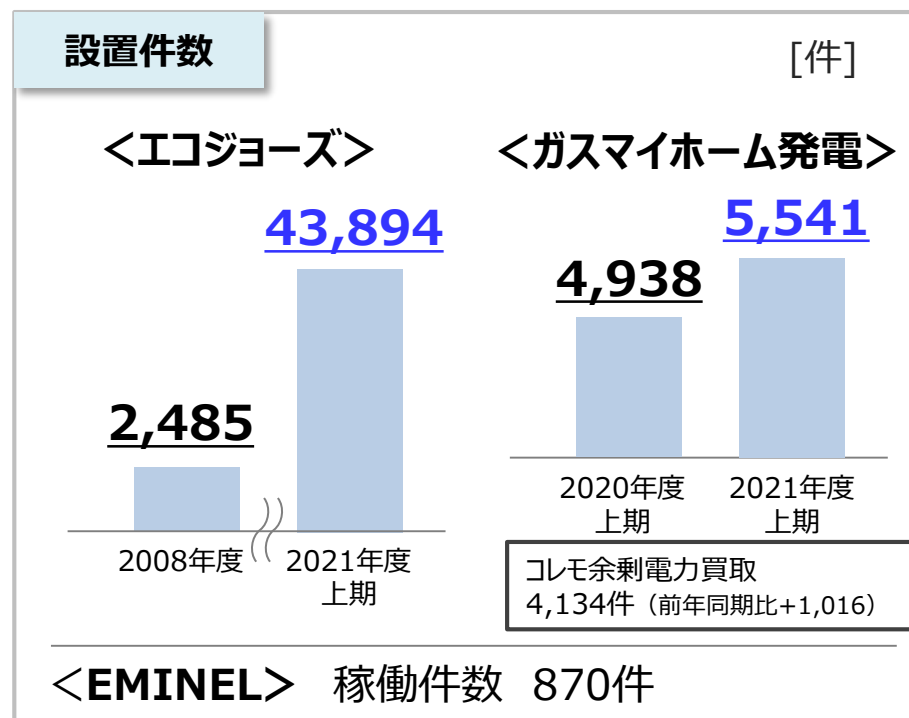
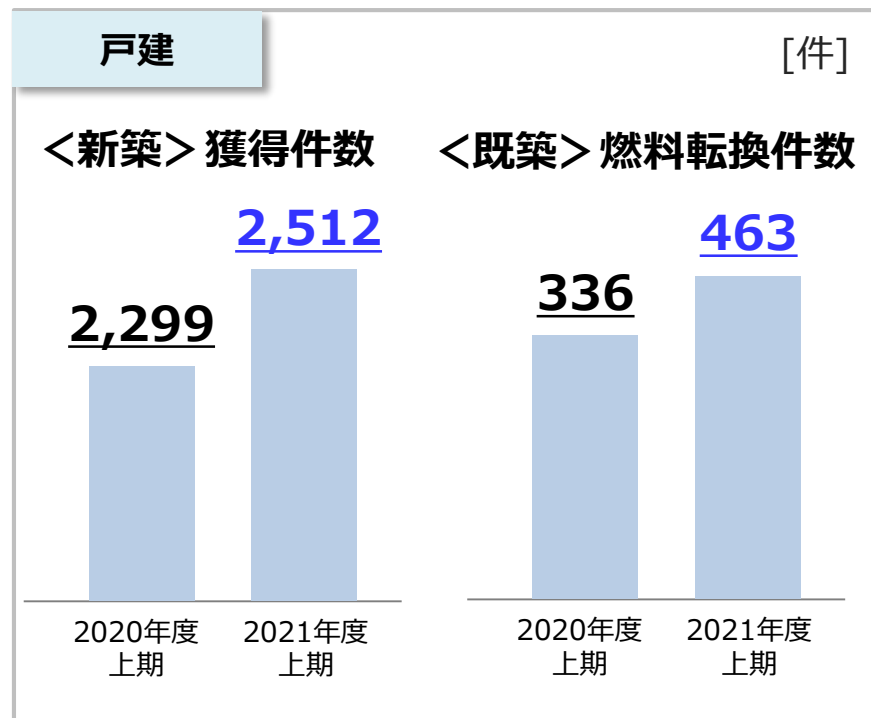


<新築>

- ・ 災害対応力をPRしマイホーム発電の獲得は堅調、設置件数は5,541件
- ・ コレモ余剰電力買取件数は4,134件まで拡大、当社の重要な電源に
- ・ 賃貸は天然ガスの経済性による入居率の高さが浸透し、7年連続で3,000件以上の獲得

<既築>

- ・ 天然ガスの経済性・環境性を訴求し、天然ガスへの燃料転換が進展



- ・ 食品工場、ホテルなど幅広い分野のお客さまを獲得
- ・ 省エネやBCPニーズの高まりから、食品工場等でコージェネレーションが採用拡大
- ・ 飲食店支援活動 北ガスグルメパートナー加盟店は全道827件へ拡大

天然ガスコージェネレーションの拡大

震災以降、
停電対応型コージェネレーションの提案を拡大

累計稼働容量
73,333kW

北ガスグルメパートナー

北ガスグルメパートナー
加盟店舗数
全道 827件



LNGサテライト供給

都市ガス供給エリア外の全道のお客さまへ供給

累計お客さま件数 27件



主要計数 <電力>

お客さま件数

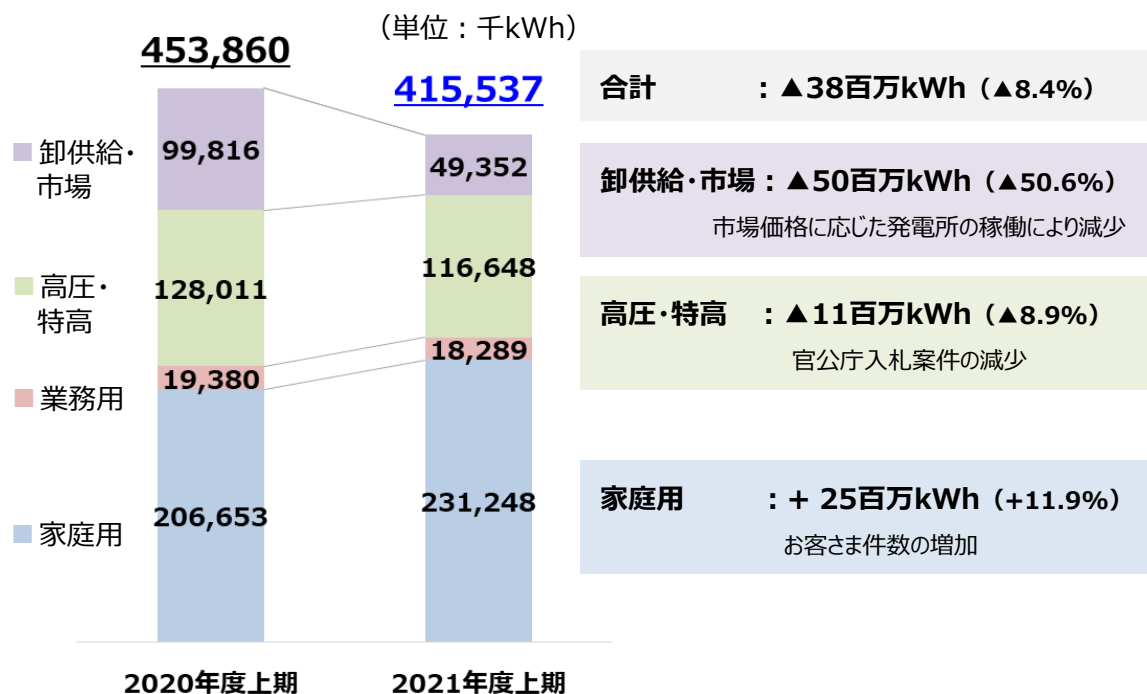
205,177件
(前年度末比 +11,544件)

電力販売量

4億1千5百万kWh
(前年同期比▲38百万kWh、▲8.4%)

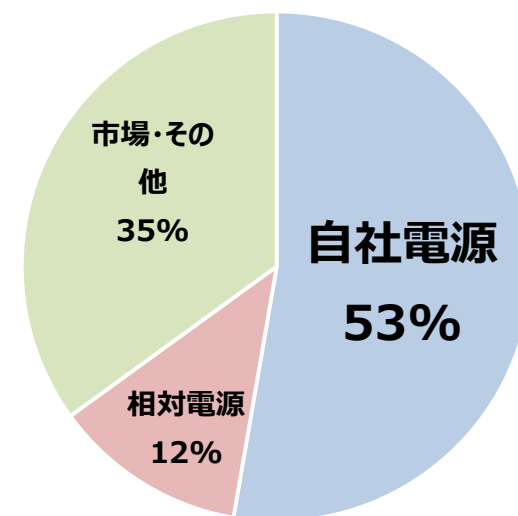
- ・ 家庭用分野のお客さま件数は、堅調に推移し20.5万件を突破
- ・ 販売量は家庭用で増加したものの、高圧・特高や市場への供給量の減少により減

<販売量内訳>



<2021年度上期の電源構成>

北ガス石狩発電所や札幌発電所による高い自社電源比率を確保



【kWhベース】

個 別

2期連続の減収・2期連続の増益

- ・ガス販売量の増加があったものの、原料費調整制度による販売単価の低下等により減収
- ・ガス販売量が前年同期比8.0%増加したこと等により増益
- ・経常利益は、前年同期比216.2%増の18億円

(百万円)

	当期	前年同期	増減	増減率	主な理由
売上高	40,109	43,148	▲3,038	▲7.0%	・原料費調整制度による販売単価の低下等
営業利益	1,781	382	+1,398	+365.3%	・ガス販売量の増加等
(営業外損益)	104	213	▲108	▲51.0%	・受取配当金の減少等
経常利益	1,886	596	+1,289	+216.2%	
(特別損益)	0	0	0	-	
四半期純利益	1,382	445	+936	+210.1%	

2021年度 第2四半期決算 <売上高 内訳>

個別

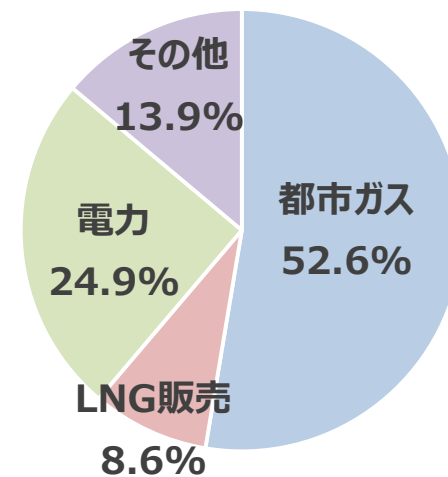
<都市ガス>

販売量が増加したものの、原料費調整制度による
販売単価の低下等により減収

<電力>

低圧販売量は増加したものの、高圧販売量及び市場
への供給量減少や収益認識会計基準の適用影響等
により減収

<構成比>



(百万円)

項目	当期	構成比	前年同期	構成比	増減	増減率
都市ガス	21,112	(52.6%)	21,388	(49.6%)	▲276	▲1.3%
LNG販売	3,439	(8.6%)	3,310	(7.7%)	+129	+3.9%
電力	9,987	(24.9%)	12,923	(30.0%)	▲2,936	▲22.7%
工事・器具その他 (LPG等 附帯事業含む)	5,570	(13.9%)	5,525	(12.8%)	+44	+0.8%
合計	40,109	(100%)	43,148	(100%)	▲3,038	▲7.0%

連結

2期連続の減収・2期ぶりの増益

グループ会社の家庭向け器具販売等が好調だったものの、個別決算の電力事業の影響により、減収。経常利益は前年同期比151.2%増の23億円

◇第2四半期実績

(百万円)

	当期	前年同期	増減	増減率	主な理由
売上高	47,807	49,787	▲1,979	▲4.0%	・器具販売の増加 ・電力事業の減収
営業利益	2,276	794	+1,481	+186.4%	・器具販売の増加 ・ガス事業の増益
経常利益	2,396	954	+1,442	+151.2%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,749	681	+1,068	+156.8%	

◇売上高 内訳 (セグメント別)

(百万円)

項目	当期	構成比	前年同期	構成比	増減	増減率
ガス (都市ガス、LNG販売)	24,818	(51.9%)	24,623	(49.5%)	+194	+0.8%
電力	9,924	(20.8%)	12,864	(25.8%)	▲2,940	▲22.9%
エネルギー関連 (工事・器具、LPG他)	12,382	(25.9%)	11,562	(23.2%)	+820	+7.1%
その他	681	(1.4%)	737	(1.5%)	▲55	▲7.5%
合計	47,807	(100%)	49,787	(100%)	▲1,979	▲4.0%

利益剰余金の増加により自己資本比率は35.6%に上昇

(億円)

項目	当期	前期末	増減	
総資産	1,511	1,512	▲1	・季節的要因等による売掛債権の減少
負債	951	969	▲18	・有利子負債等の減少
純資産	559	542	+17	・四半期純利益による利益剰余金の増加

項目	当期	前期末	増減
有利子負債 (億円)	722	736	▲14
自己資本比率 (%)	35.6	34.5	+1.1

新型コロナウイルスの影響や原油価格の動向を注視する必要があるものの、
ガス・電力の需要開発は計画通り推移しており、当初の業績予想から変更なし

() 内は前年比

ガス	販売量	6億2千万m ³	(+22百万m ³ 、+3.8%)
	取付メーター件数	59.5万件	(+5千件、+0.8%)
電力	販売量	9億2千万kWh	(▲15百万kWh、▲1.6%)
	お客さま件数	21.5万件	(+2.1万件、+11.0%)

北ガスグループ（連結）

北海道ガス（個別）

売上高	1,190億円 (+8億円)
経常利益	62億円 (+7億円)
当期純利益	44億円 (+1億円)

売上高	1,000億円 (+0.6億円)
経常利益	50億円 (+12億円)
当期純利益	36億円 (+4億円)

年間で1株当たり 55円 配当（5円増配）

<創立110周年記念配当>

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想 (2022年3月期)	25円00銭	25円00銭	50円00銭
今回修正予想 (2022年3月期)	<u>30円00銭</u> (普通配当25円00銭) (記念配当 5円00銭)	25円00銭 (普通配当25円00銭)	55円00銭 (普通配当50円00銭) (記念配当 5円00銭)
前期実績 (2021年3月期)	25円00銭	25円00銭	50円00銭

主な取り組み

4月 シェブロンU.S.A.シンガポール支社とLNG売買契約の締結

5月 石狩LNG基地 LNG船受入累積100隻

6月 住宅賃貸事業参入

栗山町における太陽光発電設備の取得

南富良野町との連携協定の締結

電力お客さま件数20万件突破

9月 レジリエンスを強化したエネファーム新製品発売

硬式野球部 創部4年目で都市対抗野球全国大会出場決定

- ・南富良野町の森林を取得、自然環境保全に貢献し環境価値としてクレジット化を行う
- ・稼働済みの太陽光発電や風力発電設備を取得、低炭素化に向けた取り組みを積極的に進展

南富良野町との連携協定



◆ 連携協定の内容

1. 地域の再生可能エネルギーを活用したエネルギー地産地消の促進
2. 森林及び関連する産業の維持発展
3. 道の駅を中心とした地域の公共施設等の災害強靱性向上

栗山町太陽光発電設備の取得



◆ 物件概要

出力	: 499kW
住所	: 夕張郡栗山町
敷地面積	: 17,056m ²
取得日	: 2021年6月1日
年間発電量	: 約65万 kWh

稚内風力発電設備の取得



◆ 物件概要

出力	: 2,300kW (400kW2基・750kW2基)
住所	: 稚内市声間村
取得日	: 2021年10月1日
年間発電量	: 約476万 kWh

セイコーエプソン(株)様への環境価値付き電力の供給



▲セイコーエプソン(株)千歳事業所様

◆ 概要

供給先	: 千歳事業所 札幌ソフトセンター
CO ₂ 削減量	: 約1.3万t-CO ₂ /年
取引証書	: 再エネ指定のトラック ング付非化石証書
供給開始日	: 2021年11月1日